

平成 20 年 9 月 9 日

各 位

石油資源開発株式会社

北海道における天然ガス供給体制の強化について

石油資源開発株式会社は、地球環境問題への意識の高まりならびに石油製品価格の高騰を受けて拡大する北海道内の天然ガス需要に応えるために、勇払油ガス田(北海道苫小牧市)の生産設備の増強に努めております。一方、その高い環境性に加え、供給安定性にも優れている天然ガスの導入を検討されるお客様が予想を上回るペースで増加されているため、今後の北海道ガス株式会社の冬期ピーク需要への対応が厳しい状況となると予想されることから、北海道ガス株式会社が石狩湾新港地区に建設予定の LNG(液化天然ガス)受入基地稼働までの冬期ピーク需要への更なる安定供給対策を、両社で連携して取り組む必要があるとの判断に至りました。

当社では、これらの状況を踏まえ、需要の増加する冬期の供給安定性を向上させるため、北海道ガス株式会社と連携して、LNG 受入基地稼働までの期間、当社が「ピークシェーブ設備」を建設し、活用することで、天然ガス供給体制の強化を図ることといたしました。

当社では、今後とも北海道におけるクリーンエネルギー天然ガスの普及に努めるとともに、安定供給の確保に万全を期してまいります。

記

1.天然ガス供給体制強化の概要

当社では、北海道ガス株式会社の旧石狩工場跡地(現在は同社の供給所として利用)に「ピークシェーブ設備」として小型の LNG サテライト基地を新たに建設し、北海道ガス株式会社「函館みなと工場」からローリー等で輸送した LNG をここに貯蔵し、冬期間の需要ピークにあわせガスを送出します。一方、北海道ガス株式会社では、「函館みなと工場」の設備を増強し、内航船による LNG の受け入れ可能量を増量いたします。

両社は 2010 年冬の運用開始を目指し、今後、準備を進めてまいります。

2.増設・新設する設備の概要

(1)ピークシェーブ設備(新設)

建設場所：石狩市新港中央 4 丁目(北海道ガス株式会社旧石狩工場跡地)

主な設備：LNG タンク、LNG 気化器、熱量調整設備、付臭設備等(詳細については検討中)

予定工期：2009 年春着工、2010 年秋完成

